MITSUBISHI 三菱電機スポットエアコン 据付説明書

販売店・工事店さま用

設置工事は販売店または専門の工事店が実施してください。
●間違った工事は故障や事故の原因になります。

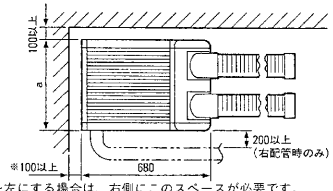
形名 MDK-40B・60B

ふんいきが特殊な場所では使用しない
- ●レンジフードの無い厨房
- ●水蒸気や油煙を直接吸込む所
- ●機械油の多い所
- ●海浜地区等塩分の多い所
- ●湿気の多い場所
- ●温泉地帯
- ●硫化ガス，揮発性ガス，可燃性ガス，可燃性粉じんなどが充満している場所
- ●腐食性ガスの濃度が高い化学・薬品工場や粉じんが多い場所
- ●高周波加工機（高周波ウエルダー等）のある所など，エアコンの周囲ふんい気が特殊な場所で使用しますと，多くの場合エアコンの故障のもとになります。ご使用はさけてください。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。

1．室内ユニットの据付け場所の選定サービススペース

室内ユニットは，下記条件を考慮して据付位置を選定してください。
1）搬入経路を決定してください。
2）侵入外気の影響のできるだけないところ。
3）水蒸気や油を直接吸込まないところ。
4）風の通路に障害物のないところ。
5）重量に耐える強度のあるところ。
6）高温熱源及び熱風のこもる場所から離れたところ。
7）塵埃の少ないところ。
8）下図に示すサービススペースがあるところ。
9）冷媒配管を室外に出しやすいところ。
▶冷媒配管が制限内に設置できるところ。
実配管長……40ｍ以下 ※高低差……30ｍ以下　　ベンド数……12以下
※高低差は室外ユニットが上でも下でも同じです。

ユニットの周囲必要空間
（単位mm）



形　名	a
MDK-40B	485
MDK-60B	615

※吹出口を左にする場合は，右側にこのスペースが必要です。

2．室内ユニットの据付け

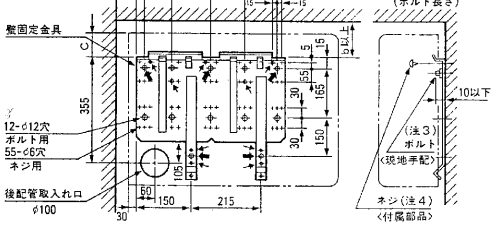
■吹出口を左にする場合は，裏面をごらんください。

1）室内ユニットは据付け場所まで梱包のままで搬入してください。
2）室内ユニット本体は下記手順で据付けてください。

◎壁固定金具の設置

●壁固定金具は左右が水平になるように強固に取り付けてください。

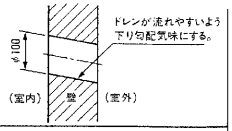
形　名	b	c
MDK-40B	165	65
MDK-60B	295	195



注1）室内ユニットは重量が30kg近くありますから据付場所は充分検討し，壁内の構造物にしっかりと固定してください。また，危険と思われたら板あるいは，桁等で補強して据付作業を行なってください。
2）固定は，壁固定金具の微振動を防ぐため矢印位置の穴は必ず固定してください。〈ボルト固定時：5ヵ所，ネジ固定時：9ヵ所〉
3）ボルト（通りボルト・ボルトアンカー・ナットアンカー）はM10またはW¾ネジを使用し，最少5本で行なってください。〈現地手配〉
4）水準器で壁固定金具の水平を確認のうえ，ボルト・ネジの本締めを行なってください。

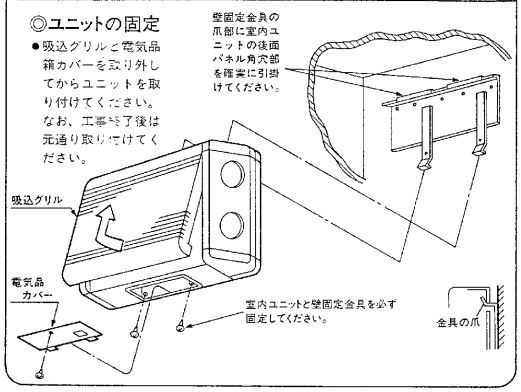
◎配管貫通穴工事

●配管方向に合せ前項図示の位置にφ100のコアドリルで貫通穴を明けます。この際，室外側が下がり気味になるように明けてください。



◎ユニットの固定

●吸込グリルと電気品箱カバーを取り外してからユニットを取り付けてください。
なお，工事終了後は元通り取り付けてください。



3．冷媒配管

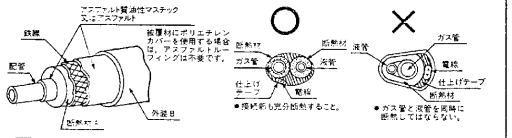
●配管は下記材料のものをご使用ください。

室内ユニット形名（機種名）	室外ユニット形名	冷媒配管サイズ	
		ガス側配管	液側配管
MDK-40B・60B	MDU-40B・60B	φ15.88×t1.0mm	φ9.52×t0.8mm

（材質）リン脱酸銅継目無銅管1種（C1220T-OL）

●ガス側配管，液側配管とも断熱は完全に行なってください。（下図を参考にしてください。）
●冷媒は室外ユニットに充てんされています。
●配管の曲げはできるだけ大きな半径で行なってください。曲げなおしを何回も行なわないでください。
●配管工事完了後，継手部分のガス漏れ検査は必ず行なってください。
●ユニットの配管端部のフレアナットは必ずダブルスパナで取り外し配管接続後はダブルスパナでしっかりと締め付けてください。
●フレアナット接続時は，フレアネジ部に冷凍機油を塗り，最初は3回～4回手回しでネジ込んでください。
●配管の継手部は，付属の継手用断熱材をかぶせ，両端を付属のクランプ材でしっかりと締め付けてください。

断熱工事施工要領



	A（断熱材関係）		B（外被覆関係）
	グラスファイバー	耐熱ポリエチレンフォーム	
屋　内	グラスファイバー＋鉄線	接着材	ビニールテープ
床下露出		＋耐熱ポリエチレンフォーム	防水麻布＋ブロンアスファルト
屋　上		＋圧着テープ	防水麻布＋亜鉛鉄板＋油性ペイント

冷媒量調整不要

1．チャージレス（現地冷媒追加不要）
この製品は封容冷媒配管分の冷媒を室外ユニットに封入してありますので，冷媒追加充填が不要です。

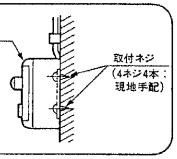
2．エアーパージ
室外ユニット本体内の冷媒（ガス）にて冷媒配管のエアーパージを行なわないでください。
（エアーパージにはお手持ちの冷媒を用意のうえ使用してください。）

4．ドレン配管

●ドレン出口は，VP20接続になっています。
●ドレン配管は下り勾配（1/100以上）となるようにしてください。
●ドレン配管はトラップを必ず設けてください。
トラップのない場合，下水の臭気，有害ガスを吸うことがあります。
また，ドレン配管より空気が吸込まれ排水ができず，水飛び結露の原因となることがあります。
●ドレン配管は排水が良好に行なわれるよう傾斜をつけてください。
●配管後，排水が良好に行なわれることと水洩れのないことをご確認ください。

5．リモコンの取付（付属品）

●リモコンは，壁，柱等に取付けてください。
（4ネジ 4本現地手配）
〈リモコンの組立ては，リモコン付属の説明書により行なってください。〉



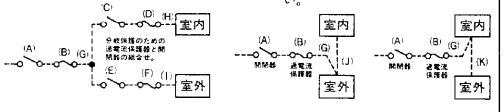
6．電気配線工事

6.1 電源配線

電源配線は，分岐開閉器，室内・室外間の配線パターンとして下記の3つの方法があります。事前に所轄の電力会社にご相談の上，そのご指示に合った配線をしてください。配線に当っては，「電気設備に関する技術基準を定める通商産業省令」及び「内線規程」に従ってください。

〔原則的な分岐工事〕
幹線を保護する過電流保護器と開閉器の組合せ。
引込開閉器と兼用したり，分電盤に組込むこともある。

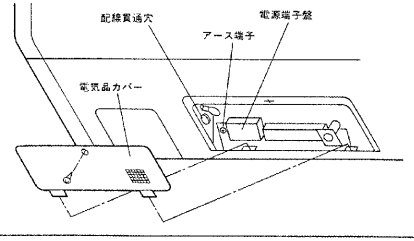
〔例外的な分岐工事〕
下記工事において，特に単相機種の場合，配線が長くなると，電圧降下が大きくなりますので指定の太さ以上の電線を使用してください。



ノーヒューズブレーカー（NF）又は漏電しゃ断器（NV）の選定
B種ヒューズと開閉器の組合わせのかわりにNF又はNVを選定する場合は下表を参照してください。

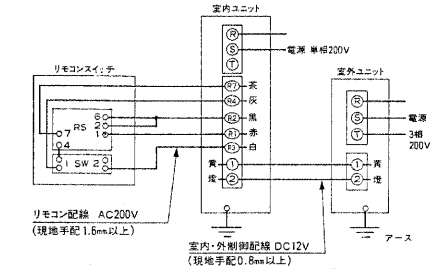
B種ヒューズの定格	15 A	20 A	30 A	50 A
NF形名（当社）	NF30-CS（15A）	NF30-CS（20A）	NF30-CS（30A）	NF50-CS（50A）
NV形名（当社）	NV30-CA（15A）	NV30-CA（20A）	NV30-CA（30A）	NV50-CA（50A）

機種名＼項目	開閉器容量 (A)	過電流保護器 (B)	開閉器容量 (C)	過電流保護器 (D)	開閉器容量 (E)	過電流保護器 (F)	電線太さ (G)	電線太さ (H)	電線太さ (I)	電線太さ (J)	電線太さ (K)
MDK-40B・60B	30 A	20 A	15 A	15 A	30 A	30 A	1.6mm	1.6mm	1.6mm	1.6mm	1.6mm



6.2 室内・外制御配線，リモコン配線

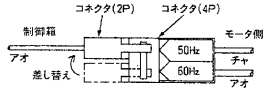
●室内・外制御配線はDC12V仕様，リモコン配線はAC200V仕様です。
●室内・外制御配線，リモコン配線は必ず端子番号通りに接続してください。
●室内・外制御配線はDC12V仕様ですので，絶対にAC200Vを印加しないように注意してください。
●現地側（機外）の配線は，制御回路（室内・外制御線・リモコン線）と電源配線が直接接触しないように施設してください。（同一電線管内には，絶対に入れないでください。）
●第三種接地工事を必ず行なってください。



機種名＼項目	リモコン配線太さ	室内・外制御配線太さ	接地線太さ
MDK-40B・60B	1.6mm	0.8mm	1.6mm

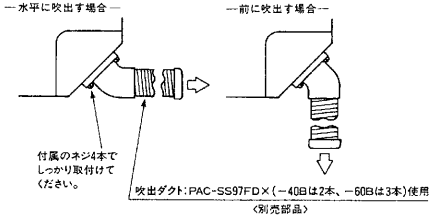
6.3 50Hz地区でご使用の場合（MDK-60Bのみ）

●制御箱右端にあるコネクターを下図の通り差し替えてください。



7．ダクトの施工

1．室内ユニットには必ず別売の吹出ダクトを使用してください。
〈PAC-SS97FD〉



2．●延長ダクトをご使用の場合，ダクト長さには制限があります。下表に示すように，必ず最大可能延長の指定長さ以内で，ご使用ください。
●ダクトは，壁面・天井面等に適宜固定してください。

	別売部品			最大可能延長
	形　名	口径〈mm〉	長さ〈m〉	〈m〉
吹出ダクト	PAC-SS97FD	φ125	1	――
延長ダクト	PAC-297ED	φ125	5	10

3．ダクト表面に結露する場合，別売の吹出ダクトに付属のダンネツカバーを取付け，延長部分には別途充分な断熱処理を行なってください。

8．試運転の前に

1．ユニット据付，冷媒配管，ドレン配管，配線作業終了後，冷媒洩れ，電源，制御線の緩み，極性間違いがないか今一度確認してください。
2．電源端子盤と大地間を500Ｖメガーで計って1.0ＭΩ未満の場合は運転しないでください。
3．試運転の最低6時間前に電源を投入してください。
電源投入により圧縮機用のクランクケースヒータが通電され圧縮機が予熱されます。（通電時間が短いと圧縮機故障の原因となります。）
4．付属の取扱い説明書を良く読んで，試運転を実施してください。
5．送風機が正規方向に回転していることを確認してください。

●試運転が完了しましたら取扱説明書により，お客様にご使用方法を説明してください。

（裏面あり）

9．室内ユニットの据付け 吹出口を左にする場合

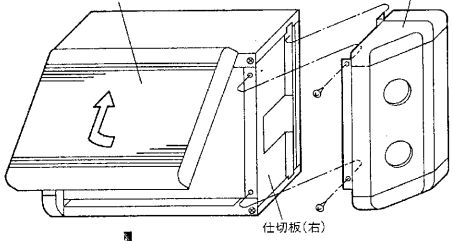
1）室内ユニットは据付け場所まで梱包のままで搬入してください。
2）室内ユニット本体は下記手順で据付けてください。

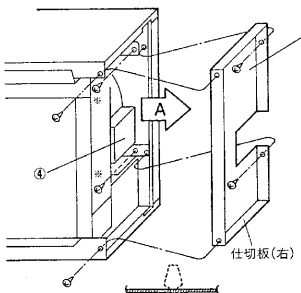
◎吹出口を左にする

- 必ず梱包木枠上で行なってください。
- 取付ネジは全て流用して行ないます。

①吸込グリルを取り外します。

②吹出口チャンバーを取り外します。

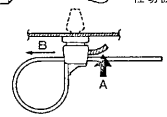




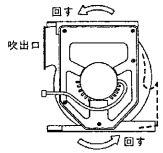
③仕切板(右)を取り外します。なお、この板は送風機を取り換え終了後、元通り取り付けてください。

④モーター配線のコネクタを外してください。また、モーター配線を固定している止メバンドを左下図のようにゆるめて配線をぬいてください。次に※印のネジを外し、送風機を矢印Ⓐ方向に引き出してください。

■送風機は、吹出口が左にくるよう、180°回転させ、ユニット左側より挿入(Ⓔ)します。
この際、モーター配線は下図のようにモーターの下部を通るようにしてください。

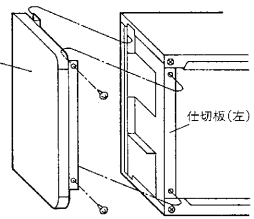


レバーAを押し上げながら、ベルトBを引くと、ゆるみます。

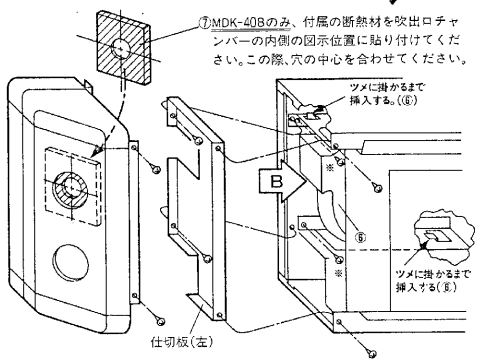


⑤側板を取り外し、右側面に取り付けてください。

⑥仕切板(左)を取り外し、送風機を矢印Ⓐ方向に挿入します。次に、配線のコネクタを取り付け、配線が熱交換器のフィンに触れないように止メバンドでしっかりと固定してください。



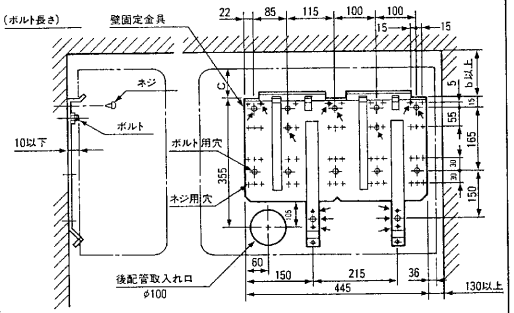
⑦MDK-40Bのみ、付属の断熱材を吹出口チャンバーの内側の図示位置に貼り付けてください。この際、穴の中心を合わせてください。



◎壁固定金具の設置

- 壁固定金具は左右が水平になるように強固に取り付けてください。

形　名	b	c
MDK-40B	165	65
MDK-60B	295	195



■ その他は表面2項をご参照ください。

表 面 へ